

事務事業名	よしだ福祉会活動補助事業		所属部	吉田総合センター	所属課	保健福祉課
政策名	総合計画体系	(Ⅲ)地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》	所属G	保健福祉G	課長名	堀江健次
施策名		(21)地域福祉の充実	担当者名	柳楽 恵	電話番号(内線)	0854-74-0215 4418
基本事業名	(061)福祉活動の実践と連携	予算科目	会計	款	項	目
			01	15	05	0578

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~年度)	社会福祉法人よしだ福祉会に対し、活動補助金を交付する。 ①よしだ福祉会から補助金交付申請書の提出を受ける。 ②内容確認、審査 ③交付決定 ④支払(4月と10月) ⑤実績報告書の提出を受ける。 ⑥精算	平成4年、旧吉田村において過疎地域の高齢者福祉のあり方を検討し、総合的福祉施設を建設することとなり、その運営主体として社会福祉法人よしだ福祉会が設立された。当時の吉田村の高齢者福祉施策として設立されたという経過から、以後法人運営を支援してきた。

(2)トータルコスト

		単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
①事業費の内訳(概要)	財源内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	9,600	9,216	8,500	8,000	
	事業費計(A)	千円	9,600	9,216	8,500	8,000	0	
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	
		延べ業務時間	時間	70	65	65		
		人件費計(B)	千円	267	253	256	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	9,867	9,469	8,756	8,000	0	

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	社会福祉法人よしだ福祉会からの申請に基づき、補助金を交付。	ア 補助金額	千円	9,600	9,216	8,500	8,000		
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	イ							
	23年度と同じ	ウ							
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	市民	⑥ 対象指標							
		ア 雲南市の人口	人	42,402	41,917	41,159	41,032		
		イ							
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	・必要などきに、安心してサービスを使ってもらう。	ア 「ケアポートよしだ」の延べ利用者数	人	13,584	14,440	13,523	14,000		
		イ 「とちのみ」の延べ利用者数	人	266	269	261	270		
		ウ 「ふかのの里」の延べ利用者数	人			37	200		
	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
地域で支えあう意識を高め、福祉活動を実践する。	ア 地域福祉活動に関心のある市民の割合	%	65.1	69.2	68.3	68.3			
	イ								

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
法人の運営経費は、村からの事業委託料と補助金であったが、平成12年度の介護保険制度開始後は、事業委託料は減額し、主な収入は介護保険収入になった。しかし、介護保険サービス以外の事業も展開し、吉田町の地域福祉の拠点であることと安定した法人運営をすることが、地域住民の安心にもつながることから、法人事務局補助を継続してきた。	市からの補助金は年々減額とし、自主財源による運営を促しているが、事業所の性格上大幅な改善に結びつかずにいる。	行政の施策として立ち上げた法人であり施設である。合併後も、地域の住民が安心して生活できるように行政の支援を継続すべきである。(市民)

事務事業名	よしだ福祉会活動補助事業	所属部	吉田総合センター	所属課	保健福祉課
-------	--------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 地域福祉の充実に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 法人の安定経営は、ここを利用する高齢者をはじめとした地域住民に安心感を与える。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象は市民であり適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 施設の規模等から、大幅な増加は出来ない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 法人の安定経営が困難になり、サービスの低下につながる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 町内の高齢者が利用できる身近な施設として必要である。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 度重なる予算削減で大幅に減額しており、更なる削減は困難である。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 現在、最低限の関わりである。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 施設のサービスを受けたり、施設を利用する人の大半は市民である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	合併後の市の予算削減による影響は、法人にとって大きかったと思われるが、行政施策の継続により、法人運営は適切になされてきた。 よしだ福祉会は、旧吉田村が設立した法人であるが、合併後は雲南市全体を意識した法人運営を目指している。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 法人の持つノウハウを活かし、合併後、「身体教育医学研究所うんなん」の事業委託を受け、行政とともに市民の健康づくり事業へも関わってきている。 介護保険事業のほかに、高齢者生活支援ハウス事業委託により高齢者の在宅生活を支え、リフレッシュセンター運営事業と身体教育医学研究所事業により市民の健康づくりに関わっている。また、広いスペースを活用し地域のイベントの場となるなど役割は多い。 今後も、事業者努力を希望しつつも、行政による支援が必要である。	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 建設後18年経過し老朽化が進む法人施設の今後の支援
--